

回覧														
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティブ長洲小

長洲町立長洲小学校だより
 令和2年10月16日第10号
 文責 校長 川富 一弘

全力・挑戦・助け合いそして感謝 みんながかがやくエンジョイ運動会、終了

さわやかな秋晴れの下・・・ではなくほどよい秋空の下、令和2年度のミニ運動会を開催しました。半日開催ということで、何を残し、何を削るのか、子ども達の考えを大切にしながら、子ども目線で運動会をゼロから考え直しました。

コロナ禍で、全国どの学校も様々な工夫が見られ、その様子を TV 等を通じてご覧になられた方も多かったと思います。

本校でも、コロナ感染防止、長洲小の伝統、子ども達の思い、そして新しい運動会の在り方という視点で提供させていただきました。

特に意識したのは、子ども達がつくる子ども達のための運動会でした。



限られた時間の中で、子ども達のかがやく目、かがやく姿をたくさん見ることができました。今回の運動会を大きな機会として、今後の学校生活の見直しを進めていきます。ご来校頂いたご家族、地域の方々、ありがとうございました。

子ども達の日記から

私は、運動会をやってきて、今年の運動会は初めて午前中で終わってしまいうけど、今までのまとめとして、準備をしてくださった方々への感謝の気持ちを少ない競技の中に込めたいと思います。

また、今日、私は出発係として、自分で計画を立てて案を出しました。私は、新しく「自分たちで、自分たちの運動会をつくる」という、これまでとちがった魅力をもつ運動会をつくりたいと思っています。その一歩目を私たち六年生でつくらなければ始まらないので、失敗してもその失敗を生かして、次の年でまた六年生が中心となって運動会に取り組んで欲しいです。

運動会に向けて 六年 松本京香



※学校のホームページも御覧ください。
長洲小学校で検索すればすぐ見つかります。
貴重な御意見とも電子メールでお寄せください。

令和2年度、後期スタート

10月13日より、本年度後半戦が始まりました。始業式では、各自がんばりたいことや目標について確認しました。「〇〇委員会の仕事をがんばりたい」「かけっこが早くなりたい」「わり算が上手になりたい」「ボランティアをがんばり6年生へ向けて準備をしたい」、等々子どもらしい目標を語ってくれました。

私は、校長講話の中で、目標を掲げるだけでは足りないこと、具体的な行動目標を決めて動き出すことの重要性を子ども達に伝えました。目標をきめて動くことは、大人の世界でも同じですよ。しかし、予定を立ててそれっきり、というパターンを私も経験済みです。ですから、自戒の気持ちも込め、私自身も、子ども達とともに、まずは3月の年度末に向けて主体的に行動しなければと思っています。

まだまだコロナウイルスの感染拡大は終息が見えません。ウィズコロナなんて言葉はあまり使いたくありませんが、当然配慮しながらの生活は継続していかなければなりません。毎日毎日を悔いなく、精一杯、これが今の学校ができることです。後期も何が起こるか分かりませんが、とにかく子ども達の笑顔のために職員一丸となって努めてまいります。

児童会リーダーとのランチミーティング



本年度2回目を校長室で行いました。内容は、12月に行う、五者連携会議、通称「長洲小サミット」について各児童会の委員会から、長洲小をもっとよくするための提言をまとめることについてでした。五者とは、子ども、職員、保護者、地域、行政の五者を指します。この五者が連携して、児童会の提案について意見交換を行い、サミットを受け、学校経営方針についても議論していきます。本校は、コミュニティ・スクールとして地域の意見を踏まえながら学校経営を進めていく学校です。柔らかな思考ができる8人の委員長らとの話はとても有意義な時間となりました。